

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会
 (事務局：全国私立学校教職員組合)
 No.15 2021年10月7日(木)

すべての学園で「署名学習会」の開催を

私学助成運動が全国各地で本格的に始まっています。緊急事態宣言や「まん防」が一斉に解除されたとはいえ、引き続き感染拡大防止の対策を十分にしつつ、取り組みをすすめていることでしょう。

先日の第50回中央委員会決定で、2021年の私学助成運動の重点と方針、具体的展開が確認されました。その中でも重要なのは、主体者を増やす取り組みとして「9月中旬に必ず県単位の学習会を設定し、その後学園・単組単位の学習会を縦横に開催していく」という点です。この間、7月以降にスタート集会や署名学習会を開催した県では、どこでもコロナ禍の困難の中でもオンラインを併用するなどの工夫と万全の対策をほどこし、そのうえで署名運動の意義を参加者で確認できたことに大きな意味があるとのこと。とりわけ、昨年度に思うような展開ができなかったことを考えると、今年の集会や学習会の意義がいっそう明らかになってきます。

41年ぶりに義務標準法が改正された小学校の35人学級実施や教員免許更新制の廃止など、教育政策をめぐる情勢は大きく動いています。とはいえ、文科省の2022年度概算要求では、教員定数もその予算(義務教育費国庫負担金)も自然減と相殺すると約800人・16億円の減になり、「少人数学級の実現」とは程遠いこと、また免許更新制も「発展的解消」と称して、実際には研修の強化による教員管理・統制をねらうということが明らかになっています。私学助成に関しても、7月の中央要請行動でせめて授業料平均相当額への引き上げを要請した際に、文科省は「就学支援金は改定したばかりなので当面はさらなる改定の予定はない」と回答しています。

これらの反動的な政策を押し返し、「私学の無償化」を勝ち取るには運動の力が欠かせません。だからこそ、運動の担い手、「主体者」を増やすために、また高校生や父母が「当事者」として立ち上がり、教職員と連帯して運動を推進していくためにも、学習会の開催が重要になります。コロナ禍の困難をあえて逆手にとって、フットワーク軽く、しなやかに学習を組織することも可能です。

すべての学園で「署名学習会」の開催を、そのために各県組織の連携を、あらためて呼びかけます。また、各地での学習会の様子を報じたニュースなどを全国私教連本部にお寄せください。推進ニュースで全国にお伝えします。

「経済的理由による中退・学費滞納調査」にご協力を

2020年度末(2021年3月31日)の経済的理由による中退・学費滞納調査は、33都道府県320校分を集約し、6月8日に文科省記者会で記者発表しました。コロナ禍にもかかわらず高校生の中退・学費滞納とも調査開始以来最低に留まったのは2020年の就学支援金拡充の影響と思われるが、一方で個別事例にはアルバイトの記述が多く、なかには深刻なケースもあり、数字に表れない背景を重視する必要がある、という分析でした。

現在、2021年度9月末の調査に取り組んでいます。集約目標は400校、これは全国の私立高校の1/3に相当します。今回はとくに「具体的な事例の収集」に力を入れると提起しています。また、長引くコロナ禍に伴う経済停滞が私立中高生の学費負担へも影響してくることが予想され、その実態把握と告発に注力することが求められています。

10月6日時点で、まだ全国私教連本部に届いたのは数十校分です。提出締め切りは10月29日(金)ですが、ぜひ早めの調査・報告をお願いします。昨年度9月末の調査は333校分を集約しました。それを上回る集約で、正確な把握と分析をおこない、世論や政治に強く訴える必要があります。各県組織でも未加盟校を含む全単組・分会への呼びかけや回収などに取り組んでいただければ幸いです。

《総選挙目前 各政党の教育政策比較》

無償教育の実現！ 給付奨学金の拡充！ を総選挙の大争点にしよう

奨学金の会は2021年9月21日、すべての政党(9政党)に公開質問書を送りました。回答が寄せられた政党について掲載します。(10/6現在)

○=賛成 ×=反対 —=その他	9年前に国際公約した無償教育の実現について具体的計画をつくる	OECD水準の教育予算増額に賛成	高校無償化政策について			大学の学費について		奨学金制度について				
			高校授業料不徴収の所得制限撤廃を	①公私格差なく無償化に ②就学支援金を拡充して公立との学費格差是正をはかる ③現行のままよい	高校の入学料や教科書代の無償化	大学授業料の半額化に賛成	私立大学の補助率を5割に引き上げる	「給付が基本」の奨学金に賛成	修学支援制度は所得・成績基準を撤廃し、大学院生も対象に	マイナンバー活用は中止すべきだ	奨学金返還の延滞金は撤廃すべき	緊急学生支援給付金の再交付を
自由民主党	—	—	—	②	—	—	○	—	—	×	—	—
立憲民主党	○	○	○	②	—	○	—	○	○	—	—	○
国民民主党	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本共産党	○	○	○	①及び②	○	○	○	○	○	○	○	○
NHK党	○	—	○	③	○	×	—	×	—	×	×	×

※各質問に対するコメントは公開質問書詳細版をご覧ください！※奨学金の会HPに掲載中です